

ICT 導入協議会（第 18 回）

議事概要

1. 開催日時：令和 6 年 3 月 21 日（木） 13:00～15:00

2. 場 所：WEB 会議

3. 議 事：

- (1) 前回協議会及び業団体からの意見・要望及び対応方針
- (2) ICT 施工の技術基準類の改訂等
- (3) ICT 施工の普及拡大に向けた取組
- (4) その他
 - ・ 建山委員による話題提供
 - ・ 中小企業イノベーション創出推進事業
 - ・ 建設施工における現場作業支援の DX に関する WG

（ 概 要 ） ○ 委員 、 ● 事務局

(1) 前回協議会及び業団体からの意見・要望及び対応方針（資料 1）

- 前回協議会の業団体からの意見・要望に対する対応方針について説明

(2) ICT 施工の技術基準類の改訂等（資料 2）

- 令和 6 年度から適用拡大する工種として、ICT 構造物工（基礎工（既成杭工））に鋼管ソイルセメント杭の適用を開始及び小規模工事へのさらなる適用拡大として、付帯道路施設工等・電線共同溝工の適用を開始することを説明。
- 民間等の要望も踏まえさらなる工種拡大として、コンクリート堰堤工及びバーチカルドレーン工（ペーパードレーン工）の適用を開始。また法面工に落石雪害防止工を追加することを説明
- 技術基準のスリム化についての概要を説明し、令和 6 年 4 月以降に関係機関へ意見紹介を実施し、次回協議会で報告・審議いただくことを説明。

(3) ICT 施工の普及拡大に向けた取組（資料 3）

- ICT 建設機械等認定制度及び中小企業等における ICT 活用拡大に向けた取組として令和 5 年度の i-Construction に関する研修状況について報告。
- 前回協議会で説明した BIM/CIM データの活用として、設計から ICT 建機への円滑なデータの引き渡し対応状況として、今後、円滑なデータの引き渡しのために、施工段階で活用可能なデータの周知を行っていくことを説明
- ICT 施工 Stage II の取組事例として、「機械やダンプの稼働状況をリアルタイムで把握し、土量配分マネジ

メントに活用する事例」「AI カメラによる映像データを活用し、資機材の予実管理やダンプのリアルタイム入退管理を実施する事例」について説明

- ICT プラットフォーム（仮称）の進捗状況として、令和5年度に試行を実施したフォローアップ調査結果について説明

（4）その他

- 建山委員による話題提供（委員提供資料）として、小規模工事における生産性向上の取り組み（京都府・梅田土建（株）の事例（2024.3.13））について話題提供
- 中小企業イノベーション創出推進事業（資料－4）として、SBIR フェーズ3基金事業 採択結果概要について報告
- 建設施工における現場作業支援のDXに関するWG（資料－5）として、WG（令和6年2月14日開催）についての結果について報告